

保健センターだより

平成27年 8月12日

昨年夏、約70年ぶりに国内感染が流行した“デング熱”。今年も諸外国では、渡航先で感染する海外感染者数が過去最多にのぼっているようです。昨年同様、この季節は日本でも流行する恐れがあり注意が必要です。

【デング熱・デング出血熱とは】

熱帯・亜熱帯地方で主にみられる「デングウイルス」による感染症で、デングウイルスに感染した蚊(日本ではヒトスジシマカ)に刺されると発症しますがヒトからヒトに感染することはありません。



【デング熱とデング熱出血の症状】

(1)デング熱 (感染した人の大多数を占める)

- ・ウイルスに感染後3～7日(最大2～14日)ほどで突然の高熱を発症(インフルエンザ様の症状)
主症状:頭痛、眼の奥の痛み、腰痛、筋肉痛、骨痛
その他の症状:食欲不振、腹痛、吐気、嘔吐、倦怠感、全身のリンパ節のはれ
- ・発病後2～7日で解熱する。解熱時期には胸、背中、顔面、腕、脚に発疹が出ることもある。
デング熱にかかっても通常は後遺症を残すことなく回復します。

(2)デング出血熱 (重症型の症状)

デング出血熱は、発病後4～5日に血液中の液体成分(血漿)が血管からもれ出し胸水あるいは腹水など(血管透過性亢進)として現れます。解熱する時期に1～2日続きますが2～4日の回復期を経て治癒します。しかし、病態が悪化しデングショック症候群となった場合は不安・興奮状態となり、発汗や四肢の冷感、血圧低下がみられ、しばしば出血傾向(鼻出血、消化管出血など)を伴います。適切な治療を行わないと死亡することもあります。

【病気に気づいたら、症状が出たらどうする】

発熱時、出血傾向を悪化させる可能性があるため“アスピリン”は使用してはいけないことになっています。まずは感染症を扱う病院や内科を受診して適切な処置を受けて下さい。

【蚊に刺されないために！】



家の周り

ペットボトル

- ・放置しないようにする
- ・雨のあたらない場所へ

水をためない
ように注意



窓・戸

- ・開け閉めを減らし、室内に蚊を入れない

プランターの受け皿

- ・使わないときはしまふ
- ・水がたまらないよう逆さに

外出時

長袖・長ズボン

- ・肌の露出は控える

できるだけサンダルははかない



肌や衣服に虫よけスプレーをかける

蚊の好む濃い色は避ける